

2024年12月16日

－ 西日本シティ銀行 20周年記念事業 －

第10回「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」の開催について
～ 鑑賞者400名を無料ご招待 ～

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、公益財団法人西日本シティ財団（理事長 久保田 勇夫）との共催により、地域で継承されている神楽や神舞等を紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」(以下「本公演」)を開催しますので、お知らせします。

2024年2月の第9回まで本公演を主催してきた公益財団法人福岡文化財団は、当行関連財団である公益財団法人西日本国際財団と2024年4月に合併し、新たに「公益財団法人西日本シティ財団[※]」として発足しました。これに伴い、本公演の出演団体は、福岡県内のみならず、九州・沖縄・山口地域の団体が出演できるようになりました。

第10回の節目となる今回は、新財団の発足を記念し、全国神楽継承・振興協議会の後藤俊彦会長が宮司を務められている宮崎県の高千穂神楽をはじめ、熊本、長崎など福岡県外の全国的に著名な団体による神楽や福岡県の田楽をお楽しみいただけます。

本公演に鑑賞者400名を無料ご招待しますので、鑑賞ご希望の方は下記要領にてお申込みください。
※詳細は、2024年2月27日付ニュースリリース「[西日本国際財団と福岡文化財団の合併について](#)」をご参照ください。

記

■ 開催概要および鑑賞申込要領

日 時	2025年2月24日（月・休）15:00～17:00（開場 14:30）
会 場	大濠公園能楽堂（福岡市中央区大濠公園 1-5）
出演団体	高千穂の夜神楽（宮崎県高千穂町）、玉之浦神楽（長崎県五島市）、 球磨神楽（熊本県人吉市・球磨郡）、竹の曲（福岡県太宰府市） 【司会：神田 紅 氏（講師）】
招待者数	400名（要事前申込 全席指定 入場無料）
申込方法	1. WEB の場合 以下の URL より必要事項を入力の上、お申込みください。 URL： https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_303/index.do 2. ハガキの場合 ご来場者全員の①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦メールアドレスを明記の上、お申込みください。1枚で2名までお申込み いただけます。 3. FAX の場合 チラシ裏面の「FAX 専用お申込み用紙」に記入の上、お申込みください。 ※チラシは西日本シティ銀行の各店舗に設置しています。
申 込 先	〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-1-10F 西日本新聞イベントサービス内 「日本の神様と舞い踊ろう」事務局 宛 FAX:092-731-5210
申込締切	2025年1月17日（金）必着 ※当選者には2月初旬に招待券をお送りします。応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送も もって発表とかえさせていただきます。
主 催	西日本シティ銀行、公益財団法人西日本シティ財団
後 援	全国神楽継承・振興協議会、福岡県、福岡県教育委員会、 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本フィナンシャルホールディングス

以 上

本件に関するお問い合わせ先
公益財団法人西日本シティ財団 事務局 渡・新屋・清家
TEL 092-476-2154

日本の神様と

舞い踊る

〜地域に根付く神楽と神舞〜



鑑賞者無料ご招待(全席指定)〈400名様〉

令和7年 2月24日〈月・休〉

- ◆ 15時開演～17時終演予定(開場14時半)
- ◆ 会場…大濠公園能楽堂(福岡市中央区大濠公園1番5号)

【参加団体】… 高千穂の夜神楽(宮崎県高千穂町)／玉之浦神楽(長崎県五島市)
球磨神楽(熊本県人吉市・球磨郡)／竹の曲(福岡県太宰府市)

【司会】… 神田紅(講師)

・「日本の神様と舞い踊ろう」を主催してきた(公財)福岡文化財団は、2024年4月に関連財団である(公財)西日本国際財団との合併により、新たに(公財)西日本シティ財団として発足しました。

・これに伴い、本事業の出演団体は、従来の福岡県内団体のみから、九州・沖縄・山口地域の団体による出演が可能となりました。

・第10回の節目となる今回は、(公財)西日本シティ財団の発足記念事業として、宮崎県の高千穂神楽をはじめ、全国的にも著名な4団体による神楽と田楽をお楽しみいただけますので、是非この機会にご鑑賞ください。



【主催】



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



【後援】

全国神楽継承・振興協議会、福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本フィナンシャルホールディングス

◆参加団体のご紹介(順不同)◆

< 神 楽 >



高千穂の夜神楽／宮崎県高千穂町 【演目】「杉登(すぎのぼり)」

高千穂地方に伝承される神楽は、天照大神あまてらすおおみかみが天岩戸あまのいわとに隠れた折に、岩戸の前で天鈿女命あめのうずめのみことが調子面白く舞ったものが始まりとされており、永い間、高千穂宮を中心に伝承されて今日に及んでいます。その伝承は遠く、平安末期から鎌倉時代にかけて成立したと言われています。高千穂の夜神楽は、毎年11月末から翌年2月にかけて町内各地区にて、33番の夜神楽を夜を徹して奉納し、秋の実りに対する感謝と翌年の豊饒を祈願するものです。



玉之浦神楽／長崎県五島市 【演目】「入鹿高松(いるかたかまつ)」、「出来舞(できまい)」

長崎県五島列島の最大の島、福江島の西に位置する玉之浦町に伝わる神楽で、町内にある白鳥神社の秋の例大祭などで奉納されています。国の重要無形民俗文化財に指定されている「五島神楽」を構成する神楽の一つでもあり、その歴史は400年以上。漁業や農業を模した舞など、地域の暮らしや文化と関わりがある舞があるのも特徴的です。かつては、白鳥神社の宮司や社人によって舞われてきましたが、現在は「白鳥神社神楽保存会」を中心に継承されています。



球磨神楽／熊本県人吉市、球磨郡 【演目】「大小(だいしょう)」、「棟方(むなかた)」

毎年10月から12月の秋祭りの時期に、人吉球磨の40以上の神社で奉納されています。文明4年(1472年)、領主の相良氏が神楽を奉納した記録があり、現在は17番が伝えられています。面をつけず、鈴や御幣、剣などを持つ採物舞を主体とする神楽で、舞に足を踏み鳴らす足拍子が入るのが特色です。独特の演目に「棟方」「大小」があり、神がかり的、呪術的要素が多く含まれます。昭和37年に保存会が結成され、現在も保存継承が行われています。

< 田 楽 >



竹の曲／福岡県太宰府市 【演目】「ささらの舞」、「扇の舞」

福岡県無形民俗文化財に指定された民俗芸能で、太宰府市の「竹の曲」保存会により継承されています。平安中期、大宰権帥大江匡房だざいのこんのが始めた天満宮安楽寺あまのみややすらひの(現在の太宰府天満宮)の神幸式じんこうしきに田楽の一座が奉仕するようになったのが始まりと伝えられています。太宰府の五条に居を構え商工業に従事した「六座」(米屋座・鋳物屋座・鍛冶屋座・染物屋座・小間物屋座・相物屋座)の子孫とその関係者が代々伝える芸能で、戦国期の動乱をのりこえ、中世の田楽を今に伝えるものとされています。

お申し込み方法

令和7年

1月17日(金)必着

1枚で2名までお申し込み頂けます。ご来場者全員の①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦メールアドレスを明記の上、お申込みください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

●ハガキ

宛先

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-10F 西日本新聞イベントサービス内「日本の神様と舞い踊ろう」事務局

●WEB

インターネットをご利用の方は、下記フォームよりお申し込みいただけます。(PC・スマホ応募可能)
https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_303/index.do

スマホの方は
コチラから



●FAX (FAX送付先:092-731-5210)

FAX専用お申し込み用紙

※このまま切らずにお送りください。

招待券送付先	■フリガナ ■お名前	■年齢	ご同伴者様	■フリガナ ■お名前	■年齢
	■ご住所 〒			■ご住所 〒	
	■電話番号	— —		■電話番号	— —
	■メールアドレス			■メールアドレス	

- ご記入いただいた個人情報は、本イベントの運営以外には使用いたしません。
- 当選者には2月初旬に直接招待券を発送し、発表とかえさせていただきます。

お問合せ

西日本新聞イベントサービス内
日本の神様と舞い踊ろう事務局

TEL 092-711-5491 (平日のみ 9:30~17:30)